



▲ 白水阿弥陀堂 (いわき市)



国交省

運輸関係功労者表彰

福島県

- みちのくALERT2018大規模実動訓練に参加し、緊急物資の広域輸送訓練を実施
- 年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動

全ト協

- 平成30年度自家用燃料供給施設整備支援助成事業 (追加募集)

陸災防

- 第54回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会を開催

県ト協

- セーフティチャレンジ事業参加の事業所様へ! 当協会への申し込みも忘れずに!
- 平成30年度第4回理事会を開催
- 「平成30年度トラック運送事業者のためのIT活用セミナー」のご案内

支部

- 県南支部が交通安全事故防止講習会を開催
- 県北支部が省エネ運転講習会を開催
- 会津支部が安全運転ドライバー研修を開催
- いわき支部が安全運転研修会及び運行管理者基礎講習を開催
- いわき支部が緊急消防援助隊との合同訓練に参加

お知らせ

- バス運転者の意識消失による事故の発生を踏まえた健康管理の再徹底について

県ト協 セーフティチャレンジ事業参加の事業所様へ! 当協会への申し込みも忘れずに!!

本事業は福島県交通対策協議会の主催事業ですが、本年7月1日から12月31日までの6ヶ月間で無事故・無違反にチャレンジしていただき、無事故・無違反達成グループには、抽選で特別賞が贈呈されるチャンスがあります。

同事業と連動して、当協会でも参加チーム単位としての無事故・無違反に対して、主催者の表彰洩れチームを対象に別途抽選会を開催し副賞を贈呈いたします。また、事業所単位での「**事故防止コンクール事業所表彰**」も行います。表彰は**事業所の車両登録台数の半数以上の参加人数で特に優秀な事業所が対象**となります。

同事業に参加しているが、当協会への申し込みがお済みでない事業所は是非申し込みを行ってください。

当協会への申込方法は交通安全協会から申込受付後に届くハガキ(会社名、氏名、チーム番号が記載)を当協会へFAX(024-558-7731)し、申し込みください。

CONTENTS

国	交	省	運輸関係功労者表彰	3
			信号機のない横断歩道における歩行者優先等の徹底について	16
福	島	県	みちのくALERT2018大規模実動訓練に参加し、緊急物資の広域輸送訓練を実施	9
			年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動	17
全	ト	協	平成30年度自家用燃料供給施設整備支援助成事業(追加募集)	13
県	ト	協	セーフティチャレンジ事業参加の事業所様へ!当協会への申し込みも忘れずに!	2
			平成30年度第4回理事会を開催	4
			人事異動	5
			平成30年度各種助成事業執行状況	6
			「平成30年度トラック運送事業者のためのIT活用セミナー」のご案内	7
			会員だより	8
			平成30年度第2回交付金運営委員会を開催	18
			12月の行事予定	10
支		部	県南支部が交通安全事故防止講習会を開催	11
			県北支部が省エネ運転講習会を開催	11
			会津支部が安全運転ドライバー研修を開催	14
			いわき支部が安全運転研修会及び運行管理者基礎講習を開催	13
			いわき支部が緊急消防援助隊との合同訓練に参加	18
青	年	部	青年部会が“秋田県トラック協会の物流交流授業”の視察研修を実施!	5
事	業	所	福島県北運輸(株)が安全運転講習会を開催	12
協	同	組	ふくトラネットワーク協同組合 KIT情報	12
合			技能講習等実施予定	13
陸	災	防	第54回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会を開催	14
			平成30年度第2回陸運災防指導員・分会事務局長会議を開催	18
			「フォークリフト運転業務従事者安全衛生教育講習」のご案内	10
お	知	ら	バス運転者の意識消失による事故の発生を踏まえた健康管理の再徹底について	
せ			交通事故統計	
ト	ピ	ク	安全運転センターが会員事業所を表彰	
ス				

国交省 運輸関係功労者表彰



平成30年度の運輸関係功労者表彰（東北運輸局長・福島運輸支局長）は11月1日(木)に福島市「ホテル福島グリーンパレス」で執り行なわれ、当協会関係者は東北運輸局長表彰7名、福島運輸支局長表彰16名へ表彰状が授与された。



[東北運輸局長表彰]

[敬称略]

事業用自動車運転者 (7名)	柴野 峰夫 (福島運送(株))	草野 成一 (岡田陸運(株))
	白岩 義美 (会津本郷貨物運送(株))	角 慎太郎 (大郷運輸(株))
	五ノ井 忠 (有会津金山運輸)	小沼 定之 (日通郡山運輸(株))
	沼田 克己 (磐城通運(株))	

[福島運輸支局長表彰]

[敬称略]

功労者	橋本 一美 (有ハシコー梱包運輸)	
事業用自動車運転者 (16名)	尾形 則次 (株帝北ロジスティックス)	堀江 英明 (東北王子運送(株))
	高橋 弘典 (株帝北ロジスティックス)	大内 修 (日本通運(株))
	野地 修市 (福島運送(株))	佐藤 秀幸 (株アオショー物流)
	齋藤 昌廣 (株吉田運輸)	小泉 吉明 (レンゴーロジスティックス(株))
	佐藤 正美 (株カネイチ運輸)	五ノ井 浩 (有会津金山運輸)
	澤田 和雄 (株郡山市場配送センター)	緑川 政浩 (クレハ運輸トラック(株))
	横田 正 (郡山運送(株))	小関 司 (三つ山運送(株))
	草野 幸彦 (郡山運送(株))	柳内 茂 (大郷運輸(株))



【運輸関係功労者】



【佐々木運輸支局長(中央)との記念撮影】

県ト協 平成30年度 第4回理事会を開催

福島県トラック協会第4回理事会が11月17日(土)に郡山市「ホテルハマツ」において理事18名、監事3名が出席し開催された。

○報告事項

- 1 平成30年度物流セミナー開催結果について
- 2 第50回全国トラックドライバ・コンテスト結果について
- 3 「トラックの日」関連事業について
 - ①平成30年度「トラックの森事業」植樹会等の概要について
 - ②「トラックの日」フェスタ in 2018について
- 4 創立70周年記念式典について
- 5 平成30年度東北トラック協会連合会事業者大会について
- 6 第23回全国トラック運送事業者大会について
- 7 東北運輸局長・福島運輸支局長表彰者について

○議 題

- 1号議案 高校進路アドバイザーと福島県トラック協会との懇談会について
- 2号議案 トラック運送事業者のための人材確保セミナーについて
- 3号議案 平成30年度運送業の説明会及び企業説明会について
- 4号議案 入会会員及び退会会員について
- その他
 - ①第5回理事会開催について
 - ②福島トラック事業政治連盟懇親パーティーについて
 - ③今後の行事予定について

【報告事項】

- 1 平成30年度物流セミナー開催結果について、9月28日(金)郡山市「ホテル」ハマツで開催され、荷主企業及び会員事業所等から160名が出席したことを報告した。
- 2 第50回全国トラックドライバ・コンテスト結果について、10月27日(土)、28日(日)2日間で茨城県ひたちなか市「自動車安全運転センター中央研修所」で開催され、福島県代表として出場した選手の結果を報告した。(今年度は入賞なし)
- 3 「トラックの日」関連事業について
 - ①平成30年度「トラックの森事業」植樹会の概要について、10月13日(土)相馬市「磯部地区」で開催され、全6支部の会員事業所及び関係者118名が参加しクロマツの苗木800本植樹したことを報告した。(次年度も同地区で開催)
 - ②「トラックの日」フェスタ in 2018について、9月29日(土)郡山市「ビッグパレットふくしま」で開催され、福島県内外から約3,000名が来場し成功裡に終了したことを報告した。
- 4 創立70周年記念式典について、10月5日(金)福島市「サンパレス福島」で開催され、県ト協理事、来賓及び業界関係者を中心に151名が出席したことを報告した。
- 5 平成30年度東北トラック協会連合会事業者大会について、9月11日(火)秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」で開催され、県ト協理事・事務局から17名が参加したことを報告した。

- 6 第23回全国トラック運送事業者大会について、10月10日(水)香川県高松市「サンポートホール高松」で開催され、県ト協理事・事務局から7名が参加したことを報告した。(次年度は千葉県幕張メッセで開催)
- 7 東北運輸局長・福島運輸支局長表彰受賞者について、11月1日(木)に東北運輸局長・福島運輸支局長表彰が行われ、東北運輸局長受賞者7名、福島運輸支局長受賞者16名が表彰されたことを報告した。

※「東北運輸局長・福島運輸支局長表彰」受賞者については3ページをご参照ください。

【議 題】

- 1号議案 高校進路アドバイザーと福島県トラック協会との懇談会について
若年層のトラック運送業界への就業促進に向けた取り組みとして、いわき地区駐在の高校進路アドバイザーといわき支部役員との意見交換会を12月4日(火)いわき市「いわきワシントンホテル椿山荘」において開催することを提案し可決された。
- 2号議案 トラック運送事業者のための人材確保セミナーについて
トラック運送業界における、人材確保対策や人材定着に向けた取り組みとして、同セミナーを11月28日(水)郡山市「県中研修センター」において開催することを提案し可決された。
- 3号議案 平成30年度運送業の説明会及び企業説明会について
トラック運送業界に興味・関心がある求職者の就職促進対策として、県ト協・ハローワークが連携し、トラック運送業界の説明やトラックの試乗体験、求人募集事業者の企業説明及び面接会を12月12日(水)福島市「福島研修センター」において開催することを提案し可決された。
- 4号議案 入会会員及び退会会員について
13社の入会、1社の退会が可決された。(承認後会員数1,235名(賛助会員279名含む))
- その他 第5回理事会開催について
平成31年1月16日(水)西白河郡西郷村「グランドエクシブ那須白河」において開催することを提案し可決された。

県ト協 人事異動

次のとおり人事異動がございましたのでお知らせいたします。 発令 12月1日付

役職(新採用)	氏 名
適正化事業部係員	クボ カズノリ 久保 和典

陸 災 防 技能講習等実施予定

【フォークリフト運転技能講習】

開催地	講 習 開 催 日	講 習 開 催 日		
		学 科	実	技
郡 山 郡 いわき市	1 月	31(木)	1: 15(火) ~ 17(木)	2: 22(火) ~ 24(木) 3: 28(月) ~ 30(水)
		24(木)	1: 9(水) ~ 11(金)	2: 15(火) ~ 17(木) 3: 21(月) ~ 23(水)

【フォークリフト運転業務従事者安全講習】

開催地	講 習 開 催 日
郡 山	1 月 16(水)
いわき	25(金)

※ 講習に関する詳細はホームページでご確認ください。 <http://www.f-rikusai.org/>

陸災防 福島県支部 様

県ト協 平成30年度各種助成事業執行状況

平成30年度の各種助成事業の平成30年11月22日現在の執行状況は下表のとおりとなっています。
 助成事業によっては、助成金申請書の提出期限前であっても、予算額に達した場合は申請しても助成されませんので十分注意してください。

また、「執行状況」については、本表作成時点後の申請状況により変わりますので、助成事業の利用を予定している方は、早めの申請をされるようにしてください。

平成30年11月22日現在

区分	助成事業名	制度の概要	助成額等	限度額	執行状況(%)
交通安全対策事業費	1 適性診断	運転者適性診断(一般・初任・適齢)の受診料の助成	一般診断 2,300円/人 初任診断 2,000円/人 適齢診断 2,000円/人	一人年1回	65
	2 睡眠時無呼吸症候群検査(SAS)	睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査に要する経費(第一次検査、第二次検査、再検査)の助成	5,000円/人	一人年1回 1会員50人まで	64
	3 脳ドック受診	運転手の健康管理のため、脳ドック受診に対する助成	10,000円/人	1会員5名まで	36
	4 ドライバー研修	安全運転研修施設にドライバー等を派遣訓練経費(受講料)に対する助成	全ト協主催の一般研修 10,000円/人(上限) 全ト協主催の特別研修 Gマーク取得事業所 全額 その他 7割	1会員5名まで	59
	5 EMS	EMS機器の導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2(上限40,000円)	1会員15台上限	46
	6 ドライブレコーダー	ドライブレコーダーの導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2 運行管理連携 40,000円 (20,000円) 標準型 20,000円 簡易型 10,000円 ※()書きの金額は国の補助金を受けた場合	1会員15台上限	38
	7 安全装置	後方視野確認支援装置、側方視野確認支援装置、呼吸吹込み式アルコールインターロック、IT点呼に使用する携帯型アルコール検知器の導入に要した経費に対する助成	27,000円/台	1会員15台上限	52
	8 フォークリフト技能講習受講料	陸災防の行うフォークリフト運転技能講習の受講経費	4,000円/人		43
	9 衝突被害軽減ブレーキ装着車	中型車を対象に、衝突被害軽減ブレーキ装着車の導入に要した経費に対する助成	100,000円/台	1会員3台上限	56
	10 中型・大型免許助成	従業員に準中型免許、中型免許、大型免許、けん引免許を指定教習所で取得させた費用に対する助成	準中型免許 40,000円/人(上限) 中型免許(二種は除く) 50,000円/人(上限) 大型免許(二種は除く) 100,000円/人(上限) けん引免許 50,000円/人(上限) 中型限定解除 30,000円/人(上限) 準中型限定解除 20,000円/人(上限)	1会員50万円上限	56
	11 定期健康診断	運転手の健康診断に対する助成	1,000円/人・年(上限)	車両台数上限	47
	12 SDカード	運転手のSDカード取得に対する助成	630円/人・年(上限)	車両台数上限	63
	13 血圧計	血圧計の導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2(上限50,000円)	1事業所1台	98
	14 女性用休憩施設等整備	女性従業員用の休憩室、更衣室、トイレ等の増改築の費用の一部に対する助成	工事費の1/2または30万円にいずれか低い額		48
交通公害対策費	15 アイドリングストップ支援機器	アイドリングストップ支援機器の導入に要した経費に対する助成	電気式の毛布・マット・ベッド 15,000円/枚 エア・温水式ヒーター 60,000円/基 蓄冷式クーラー(リヤ・三菱) 50,000円/基 蓄冷式クーラー(ベッドルームクーラー・デンソー・UD) 50,000円/基 車載バッテリー式冷房装置 60,000円/基 ジェルマット 9,000円/枚	電気式の毛布・マット・ベッド 30枚 エア・温水式ヒーター 3基 蓄冷式クーラー・車載バッテリー式冷房装置 3基 ジェルマット 30枚	28
	16 ポスト新長期	ポスト新長期規制適合車を導入した経費	小型 新車 15,000円 中型 新車 30,000円 大型 新車 50,000円 ※CNG、ハイブリッドトラックについては要綱を参照のこと	15台	42
	17 エコタイヤ	エコタイヤ(転がり抵抗5%以上低減)を導入装着に要した経費	1,500円/本 車両数×1/3(四捨五入)×10本上限	150本	35
研修調査事業費	18 中小企業大学校	中小企業大学校の対象講座の受講料を受講した場合	受講料の2/3相当額		57
	19 グリーン経営認証	グリーン経営認証を取得又は更新した際の費用の一部を助成	新規取得 100,000円 更新 50,000円	1事業者1回/年 (支店、営業所の数にかかわらず年度内で1事業者につき取得・更新のどちらか1回)	23
	20 経営診断	経営診断に要した経費の一部に対する助成	経営診断費用の1/2 80,000円限度 (Gマーク取得者は 100,000円限度)		0
基金運営事業費	21 近代化基金利子補給	物流施設整備資金、車両(ポスト新長期含)、省エネ機器等購入に要する資金借入に対する利子補給	近代化基金融資 利率 0.3% " " 0.3% 低公害車・省エネ関連機器 " 0.3%	近代化基金 1会員 3千5百万 ポスト新長期 1会員 7千万 低公害車等 1会員 3千5百万	65
	22 信用保証料	信用保証協会の一般保証料に対する助成	信用保証料の額が 50,000円まで 全額 50,000円~ 50,000円に50,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限年度内 100,000円	29
	23 緊急制度資金信用保証	県制度資金等の保証料に対する助成	信用保証料の額が 100,000円まで 全額 100,000円~ 100,000円に100,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限年度内 200,000円	42
	24 緊急制度資金利子助成	県ト協の保証料助成を受けたものに対する借入利子の助成	支払利子利率の0.8%(3年間)		42
事業適正費	25 運行管理者講習	運行管理者講習(一般、基礎)の受講料の一部に対する助成	一般講習 1,000円/人・年 基礎講習 4,000円/人・年	一般講習は選任管理者のみ 基礎講習は車両台数の10%を上限(端数切上げ)	45

注1)「制度の概要」は、助成制度の概略を記載したもので、詳細は助成要領等で確認してください。
 注2)本表は、会員を対象としたもので、Gマーク取得の非会員に対する助成措置は省略してあります。
 注3)「執行状況」は、予算額に対する執行率を「%」で表示します。概ね90%を超えたときは「締切間近」と、また、予算額に達した場合は「終了」と表示します。


 県ト協

「平成30年度トラック運送事業者のためのIT活用セミナー」のご案内

現在、トラック運送業界においては、トラックドライバー等の人材確保が大きな課題となっており、人材不足対策の一環として、トラック運送事業に対するIT支援を図り、業務の効率化、輸送品質の向上を推進するため、事業者からの導入支援希望が高いIT機器の活用事例等や、IT（ロボット）による未来の物流等に係る標記セミナーを下記のとおり開催することとなりました。

つきましては、今後、IT活用に関心がある方は、是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 平成31年 1月15日(火) 13:30 ~ 16:30
- 2 場 所 県トラック協会協会県中研修センター 2F 大研修室
郡山市喜久田町卸三丁目5
- 3 講 師 近代経営システム研究所 代表 森高 弘純 氏
(株)ナブアシスト 営業統括部 ロジスティクス営業部 飯田 三起也 氏
- 4 研修内容 (1)トラック事業者のIT活用
(2)IT導入成功事例、情報セキュリティ対策等
(3)IT(ロボット)による未来の物流
(4)点呼ロボットの紹介と実演
- 5 申込み 下記に記入してFAX024-558-7731迄お送りください。(31年1月7日必着)
- 6 募集人員 100名
- 5 問合せ 県トラック協会業務部(吉田・高橋) TEL 024-558-7755

「平成30年度トラック運送事業者のためのIT活用セミナー」申込み

- 1 支部名 _____ 支部
- 2 事業者名 _____ (_____ 営業所)
- 3 出席者名 _____

申込先 ▶ FAX 024-558-7731

会員だより

新規入会事業所

支部	店・社名	代表者名	郵便番号	住 所	車両台数
県北	(株)泰伸建設工業 福島営業所	佐竹伸一	960-0231	福島市飯坂町平野字東原43-1	5
県中	ラクダ運輸(株)福島営業所	濱尾昭顕	963-0215	郡山市松池台1-17-8	5
県中	YCG福島(株)	三上龍治	963-7719	田村郡三春町大字貝山字岩田516番地	5
県中	(有)シンザワ工業	新澤弘昌	963-0201	郡山市大槻町字北ノ林27番地33	6
県中	(株)澤井商運	澤井秀紀	969-1106	本宮市岩根字みずきが丘1番地791	8
相双	下越仙台陸送(株)広野レコン営業所	阿部忠幸	979-0401	双葉郡広野町大字上北迫字岩沢1-97	11
いわき	(株)エム・オーカンパニー	大平政行	971-8181	いわき市泉町本谷字数馬38-1	10
いわき	アトム企画(株)	渡邊幸司	973-8409	いわき市内郷御台境町六反田77-7	5

会員名簿変更

ページ	事業所名	変更事項	新	旧
2	(有)国見興産	郵便番号 住所	969-1782 伊達郡国見町泉田字二階平1の14	969-1751 伊達郡国見町大字塚野目字原東15
11	アーク引越センター(株)郡山支店	代表者 (支店・営業所代表者)	堀田昌和	一条真吾
16	大和物流(株)福島営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	藤郷公之	板垣 崇
17	東北センコー運輸(株)福島営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	菅原政幸	小松良成
24	鮫川運送(株)福島営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	芳賀篤徳	雅楽川 淳
		郵便番号 住所	969-1103 本宮市仁井田字一里壇104-1	969-1301 安達郡大玉村大山字荒池20
27	(有)内山急送	住 所	須賀川市並木町5-1	須賀川市並木町277-1 コーポナナ102
34	鮫川運送(株)棚倉営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	芳賀篤徳	芳賀 一
		郵便番号 住所	963-6103 東白川郡棚倉町大字金沢内字前山割112	963-6103 東白川郡棚倉町大字逆川字背戸山5
37	(有)小滝運送店	代表者 (支店・営業所代表者)	小瀧寛子	小滝徳子

県ト協

平成30年度第2回交付金運営委員会を開催

本年度の第2回交付金運営委員会が、11月14日(水)に委員7名が出席し郡山市の県中研修センターにおいて行われた。

佐藤 信成 委員長のあいさつに続き、議事として、平成31年度に向けた「運輸事業振興助成交付金特別会計（以下「交付金会計」という。）に係る各種事業」や「交付金会計に係る助成事業」を取り上げ、今年度の事業実施内容の検証や今後の見直し・方向性等について、各委員による活発な協議が行われた。

なお、交付金運営委員会は今年度中に3回計画しており、最終回となる第3回委員会は31年2月に開催予定となっている。

福島県 みちのくALERT2018大規模実動訓練に参加し、緊急物資の広域輸送訓練を実施!

みちのくALERTは、4年に1回東北各県にわたる大規模実動訓練を開催するもので、福島県内においては、11月9日(金)は県庁内での図上訓練を、10日(土)は実動訓練を、陸上自衛隊をはじめ、福島県・福島市・相馬市等の各自治体、県トラック協会・県倉庫協会の関係機関などが参加して行われた。

県トラック協会が参加した実動訓練の内容は、(株)帝北ロジスティックス北倉庫に自衛隊7tトラックが支援物資(飲料水2ℓ 288箱)4パレットを持ち込み、県トラック協会が準備した4tトラック(株)帝北ロジスティックス所有)へフォークリフトにより積み替えた。

支援物資を積み終えた4tトラックは、福島市から相馬市にある相馬市防災備蓄倉庫へ向かい、フォークリフトにて支援物資4パレットを積み下ろし、倉庫内に保管した。その後、自衛隊トラックが到着し、フォークリフト等にて倉庫から緊急物資を積み込んで、別目的地に向かった。



①緊急物資を4tトラックに積み替えた



②緊急物資の積替が完了



③緊急物資が相馬市防災備蓄倉庫に到着



④県トラック協会の4tトラックから緊急物資を積み下ろす



⑤緊急物資を倉庫内に積み下ろす



⑥自衛隊トラックが到着し、緊急物資を荷揚げする。

トピックス 安全運転センターが会員事業所を表彰

自動車安全運転センター福島県事務所は優秀安全運転者事業所に対する表彰で当協会会員33事業所を表彰した。プラチナ賞と金賞は警察本部長・安全運転センター理事長連名表彰、銀賞と銅賞は警察本部交通部長・安全運転センター事務所長連名表彰となる。

受賞事業所は次のとおり。

事業所名	
金賞 (5事業所)	斎藤運輸(株) 上野輸送(株)小名浜事業所
	鈴木運輸(株) ヤマトホームコンビニエンス(株)福島支店
	(株)ニヤクコーポレーション東北支店 小名浜事業所
銀賞 (12事業所)	南東北福山通運(株)白河支店 (株)帝北ロジスティックス
	(株)ニヤクコーポレーション東北支店郡山事業所 磐城通運(株)小名浜支店
	船引運送(株) (有)だいわ運送
	若林運送(株)小名浜営業所 迫トラック(株)郡山営業所
	(有)ミナト 福島倉庫(株)
	会津本郷貨物運送(株) 菅野運輸(有)
銅賞 (16事業所)	南東北福山通運(株)福島支店 福島日配運輸(株)
	南東北福山通運(株)会津営業所 日通相馬港運輸(株)
	西濃運輸(株)郡山支店 (株)タムラ
	日本通運(株)郡山支店 ALSOK福島(株)福島支社
	(株)誠光運輸いわき営業所 斎藤運輸工業(株)
	(株)誠光運輸郡山営業所 野口運輸(株)郡山営業所
	郡山第一運送(株) 茨城クリーン(有)
	郡山トラック運送(株) 福島陸運(株)

支部 県南支部が交通安全事故防止講習会を開催

県南支部（橋本 一美 支部長）は交通事故防止講習会を10月27日(土)に泉崎村「白河の関トラックステーション」において開催し、支部会員事業所から125名が参加した。

この講習会は支部会員事業所を対象に毎年様々なテーマで実施しており、今年は「交通・構内作業等に関する労働災害防止について」(有)ハシコー梱包運輸、(株)須賀川東部運送の安全管理担当者より自社の取組事例の発表、「労働災害防止について」白河労働基準監督署 面川署長の講話、「ドライバーのための健康管理」と題して、総合南東北病院 遠藤 幸男 医師の基調講演を実施し、日常業務における注意点や健康管理に関するノウハウを学んだ。



支 部

県北支部が省エネ運転講習会を開催

県北支部（右近 八郎 支部長）は省エネ運転講習会を11月10日(土)に福島市「福島日野自動車(株)福島支店」において開催し、支部会員14事業所19名が参加した。

講習内容は「交通エコロジー・モビリティ財団」が定めるエコドライブ講習カリキュラムに基づき、講習前フリー走行を行い、次に省エネ運転講習座学の習得、最後に再度省燃費運転実車を行い、講習前燃費と講習後燃費をデータ解析し改善率を確認した。改善率に多少の違いはあっても、全参加者が講習後の燃費向上（参加者平均の燃費向上率は16.8%）が確認され、日常業務における省エネ運転方法の重要性について再認識させることができた。



支 部

会津支部が安全運転ドライバー研修を開催



会津支部（菅野 高志 支部長）は安全運転ドライバー研修を10月27日(土)、11月10日(土)の2日間にわたり、会津若松市「会津自動車学校」において実施した。支部会員9事業所19名が参加し座学・実技（コース走行）講習や運転適性診断を受診し、今後の運転業務に対する事故防止意識の向上を図った。

支 部

いわき支部が安全運転研修会及び運行管理者基礎講習を開催

いわき支部（鈴木 健仁 支部長）は11月17日(土)いわき市「タイヘイドライバーズスクール」において、「超高齢化社会に生きるプロドライバーのあり方」をテーマに安全運転研修会を開催した。

この研修会は、昨年引き続き2回目の開催となり、今後迎える超高齢化社会に向けて、認知症とその予防法等について理解するとともに、各種計測機器等を用いた認知機能や身体機能の測定により、受講者自身に自覚を促し、高齢社会に適応できる運転者を育むことを目的としている。

研修は加齢による認知・身体機能の衰えについての座学、認知症予防体操、機器を用いた認知機能チェック、身体機能測定を行うなどの充実した内容となっており、本研修会には、支部会員から12事業所18名が参加した。



【安全運転研修会】



【基礎講習】

また、11月28日(水)～11月30日(金)の3日間にわたり、いわき共同休憩所 大会議室において、平中央自動車学校ご協力のもと、今年度2回目となる「運行管理者基礎講習」を開催した。

本講習は運行管理者試験の受験資格である運行管理に関する1年以上の実務経験に代えることができる講習で、本講習修了者は運行管理者の補助者に選任することが可能となる。当日は支部会員事業所より78名が受講し、運行管理者業務の基礎知識を学んだ。

陸 災 防 第54回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会を開催



受賞者

渡辺さん・伊藤さん・阿部さん

第54回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会が、11月1日(木)富山市の富山国際会議場(富山市大手町1-2)において、800名の会員関係者の参加を得て、盛大に開催された。

I部大会式典は、主催者渡邊 健二 会長から、「陸運業における労働災害は、長期的には減少傾向にあるが、最近では横ばいないし増加傾向にあり、各事業場の安全水準の向上などの積極的な取組」が求められている。陸災防としては、「労働災害防止5か年計画の目標達成に向け、本部・支部が一体となって労働災害防止」に取組。また、「過労死などの労災認定件数が全産業の中でも突出して

いて、労働者の健康確保」も大きな課題となっている。陸運業は、「このように厳しい経営環境」にありますが、「そこで働く労働者の労働環境を改善していくことは事業者の責務」と挨拶。続いて、安全衛生表彰と、平成30年度「安全衛生標語」入選作品が発表された。

式典最後に、愛知県支部長から大会宣言(案)が力強く読み上げられ、「陸運業が我が国の経済活動と国民生活を支える物流の中核を担ううえで、そこで働く人々の安全と健康を確保することは重要な課題。私たちの業界は、諸課題を抱え、経営環境は依然厳しいが、人命尊重の理念のもと、労働災害絶滅に向け取組、健康で安心して働ける職場環境を実現し、企業並びに業界の発展に寄与する」と宣言、満場一致で採択された。

II部では、厚生労働省労働基準局椎葉茂樹安全衛生部長が、「労働安全衛生行政の動向」と題し講演、III部では、トナミ運輸(株)森田さんが、「トラック荷台からの転落事故防止の取組」と題し事例発表を行った。

IV部では、大高建設(株)川添執行役員土木部長が、「黒部奥山における電源開発及び砂防工事の安全の取組」と題し講演。

最後に、次回第55回大会の開催地である滋賀県支部長から閉会の辞があり、来年の再会を期して今大会が締めくくられた。



※安全衛生表彰

進歩賞

ダイソーロジスティクス(株)

功績賞

渡辺 正徳(陸災防福島県支部講師)

優良フォークリフト等運転者表彰

齋藤 誠(日本通運(株)郡山支店)

門間 秀一(日通相馬港運輸(株))

三瓶 昭二(アキタ(株)郡山営業所)

一刀 孝光(丸カ運送(株))

菅野 努(西濃運輸(株)福島支店)

表彰者(福島県支部)

※安全衛生標語入選

交通部門(入賞)

『荷主と連携すぐ実行 ゆとりを持たせた運行計画 正そう守ろう労働時間』
阿部 真希 (岩代運送(株))

健康部門(入賞)

『過労 ストレス SOS 告げる勇気と聞く器 みんなで作る健康職場』
伊東 弘人 (野口運輸(株)二本松営業所)

(佳作)

『必ず受けよう健康診断 目をそらすな診断結果 それ健康への道しるべ』
坂井 香織 (陸災防福島県支部)

陸 災 防 平成30年度第2回陸運災防指導員・分会事務局長会議を開催

平成30年度第2回陸運災防指導員・分会事務局長会議は、11月21日(水)、福島市において支部管内災防指導員・分会事務局長が出席し、来賓として福島県労働局健康安全課近藤産業安全専門官・陸災防本部五十嵐技術課長を迎え、開催された。

議事は、30年度のこれまでの事業経過報告を行った後、「平成30年度年末・年始労働災害防止強調運動」の取り組み、「緊急事態に伴う労働災害の撲滅に向けた取組の強化について」(福島労働局長緊急要請)、会議が行われた。

最後に、近藤専門官から、「県内において、労働災害が多発傾向にあり、憂慮すべき事態です。なお一層の労働災害防止を推進して欲しい。」と締めくくりの挨拶があった。



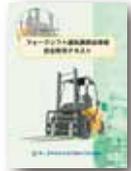
【挨拶する近藤専門官】

陸 災 防 『フォークリフト運転業務従事者安全衛生教育講習』のご案内

皆さまの事業場では、
フォークリフト運転業務従事者に、安全衛生教育を実施していますか!

事業者は、従業員に対し一定期間(概ね5年)ごとに教育を実施するよう努めなければならない。(厚労省基発1012第1号)

陸災防では、災害防止をめざし、『フォークリフト運転業務従事者』を対象に上記教育を下記の通り実施しております。労働災害防止のため、是非受講されますようご案内申し上げます。



会場及び講習日程 【郡山会場】平成31年1月16日(水) 午前9時から午後5時まで
福島県トラック協会 県中研修センター (郡山市喜久田卸3-5)
【いわき会場】平成31年1月25日(金) 午前9時から午後5時まで
福島県トラック協会 いわき共同休憩所 (いわき市小名浜島字館ノ下19-1)

定員・受講料 100名(先着順)・5,700円(テキスト代・消費税込)

内 容 最近のフォークリフトの特徴 2時間・フォークリフトによる作業と安全 1時間
フォークリフトの点検と整備 1時間・災害事例及び関係法令 2時間 **合計6時間**

申込方法 受講申込書(陸災防福島県支部のホームページからダウンロード)に受講料を添えて申し込み下さい。

陸災防(陸上貨物運送事業労働災害防止協会)福島県支部

問合せ先: 024-558-9011 FAX: 024-559-1161

事業所 福島県北運輸(株)が安全運転講習会を開催

県北支部所属の福島県北運輸(株)は11月11日(日)福島市「ラヴィバレ」において県内外の営業所より社員72名が参加し今年度2回目となる「安全運転講習会」を開催した。

今回の講習会でも外部講師を招き、午前の部では東北交通共済による「交差点事故防止、構内事故防止、あおり運転の危険性」をテーマにした安全運転講習を実施。

午後の部ではデジタコ販売会社担当者による、新型デジタコ導入による機器と運行管理システムの使用・活用方法について長時間にわたりノウハウを学び知識を深めた。



全ト協 平成30年度自家用燃料供給施設整備支援助成事業

追加募集

全日本トラック協会では、以下のとおり自家用燃料供給施設整備支援助成事業の追加募集を実施いたします。

詳細な内容等については、全日本トラック協会のホームページをご覧ください。

公募期間	平成30年12月3日(月)~12月28日(金)	公募枠	1,000万円
全ト協最終受付日	平成31年1月15日(火)	助成金額	新設: 100万円
交付決定通知予定日	平成31年1月31日(木)		増設: 30万円

支 部

いわき支部が緊急消防援助隊との合同訓練に参加

いわき支部（鈴木 健仁 支部長）は11月17日(土)、18日(日)にいわき市「21世紀の森」をメイン会場に、市内数か所の会場でそれぞれの分野において実施された「平成30年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練」に参加した。この合同訓練は大規模災害や特殊な災害が発生したとき、被災地の消防機関だけでは、対処できないことも想定されるため、有事の際は被災地の要請を受け、都道府県域を越えて、空や陸から駆け付ける消防の応援部隊「緊急消防援助隊」の緊急消防援助隊の技術及び連携



【緊急車両に燃料を供給】

活動能力の向上を目的に、総務省消防庁主催で全国の自治体及び消防機関の協力のもと、平成8年度から全国を6ブロックに分けて毎年訓練を実施しているもの。福島県は東北6県に北海道、新潟県を含めた1道7県で構成される北海道東北ブロックに位置付けられ、毎年持ち回りで訓練を実施しており、平成30年度はいわき市での開催となった。本市消防が担当する訓練では過去最大規模であるとともに、東日本大震災以降、津波被災地で開催される実動訓練は初めてとなった。いわき支部は平成24年12月に「災害時における支援物資の物流及び燃料の供給に関する協定書」をいわき市と締結しており、今回の訓練では、「緊急車両燃料補給の要請」を受けたとの想定で、いわきトラック事業協同組合の協力のもと、岩手県消防署所属の緊急車両に燃料供給を行った。

お知らせ

バス運転者の意識消失による事故の発生を踏まえた健康管理の再徹底について

10月28日(日)の神奈川県横浜市の国道におけるバスの運転者が意識を失った事による事故及び、11月1日(木)の千葉県成田市の県道におけるバスの運転者が心筋梗塞のため意識を失った事による事故が発生したことを受け、国土交通省自動車局安全政策課長より、改めてマニュアル等による運転者に対する健康管理を、運転者毎の状況に応じて適切に行うよう再要請がありました。

つきましては、全ト協作成の「トラック運送事業者のための健康起因事故防止マニュアル」及び「トラック運送業界の過労死等防止計画」等により、運転者の健康管理を徹底し、健康起因事故防止に万全を期するようお願いいたします。（上記マニュアルは全ト協ホームページより取得可能）



青年部

青年部会が“秋田県トラック協会の物流交流授業”の視察研修を実施!

青年部会（小野田 弘明 部会長）の新たな事業として取組を検討している「物流出前授業（仮称）」に関する調査研究を行うため、小野田部会長をはじめ6名の部会役員が、11月26日(月)に秋田県トラック協会青年部会が主催する「物流交流授業」の視察研修を実施した。

平成11年度からスタートした同授業は今年度20年目を迎え、今回の秋田市立広面小学校での開催で通算226校目となり、秋田県トラック協会 青年部会にとって歴史と伝統のある事業となっている。同授業は小学5年生の社会科授業として、児童約90名を対象に秋田県青年部会役員が講師となり、学校内の特別教室にて座学形式での講義（物流の仕組み・トラックの役割等を説明）を行った後、生徒からのトラックの構造や輸送等に関する様々な質問に対して、分かりやすく丁寧に疑問を解決。



【視察研修に参加した青年部会役員】

《座学形式授業の様子》



【物流の重要性や仕組みについて説明】



【参加児童との質疑応答】

続いて、屋外でのトラックを利用した体験型授業として、準備した2台の大型トラック（ウイング車、冷凍車）について、車両の構造・装備等を説明し、児童を運転席に座らせたり、開閉したウイングの荷台に上げさせるなど、初めてのトラック乗車体験に参加児童は大はしゃぎで歓声を上げていた。

同授業を通して、参加児童に物流業界に興味を示してもらい、「トラックが日本の物流を支えている重要な役割を果たしていること」を強く認識させることによって将来の人材確保に繋がること期待されている。

授業終了後、小野田部会長など研修参加者は「今日、視察した物流交流授業を参考として、福島県においてもできるだけ早い時期に開催できるよう、実現に向けて準備を進めていきたい。」と決意を新たにされた。

《屋外体験授業の様子》



【トラックの構造について説明】



【荷台への乗車体験】

国交省 信号機のない横断歩道における歩行者優先等の徹底について

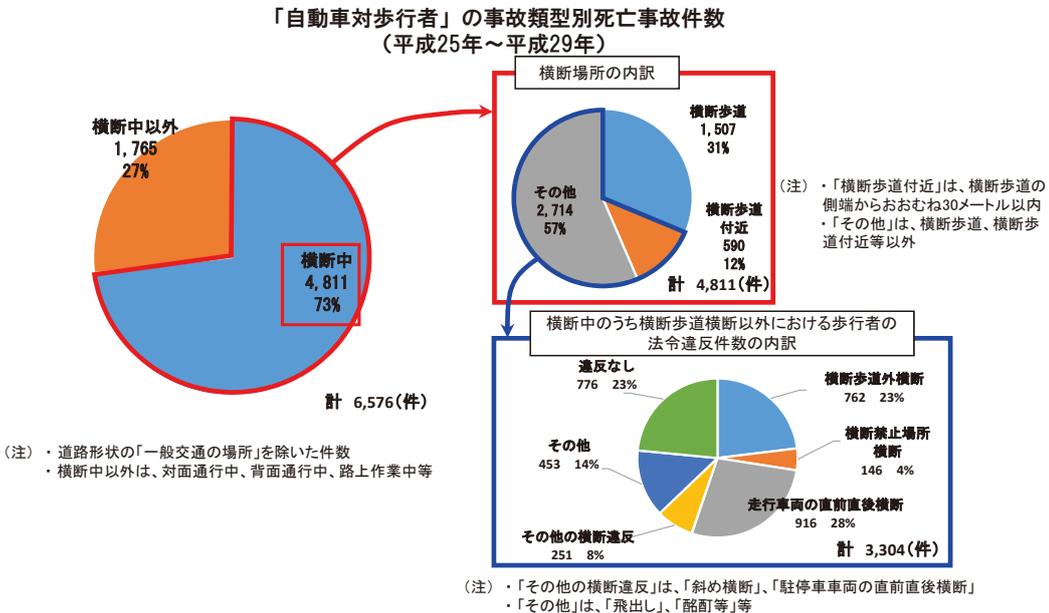
平成30年11月12日付け警察庁丁交企発第270号による「信号機のない横断歩道における歩行者優先等を徹底するための広報啓発等について」への協力要請を受け、今般、国土交通省自動車局安全政策課長より、全国一斉の信号機のない横断歩道における歩行者優先等を徹底するための広報啓発等の取組について協力依頼の通達が発出されましたのでお知らせいたします。

下記参考データを活用し、従業員教育等の場において周知してください。

参考 「自動車対歩行者」による事故の事故類型別の死亡事故件数(全時間帯)

- 事故類型別では、**横断中が約7割**を占めている。
- 横断場所の内訳では、横断歩道以外での発生が約7割で、横断歩道以外の横断における歩行者の約8割に法令違反あり。

図 「自動車対歩行者」死亡事故の事故類型別件数(平成25年～平成29年)

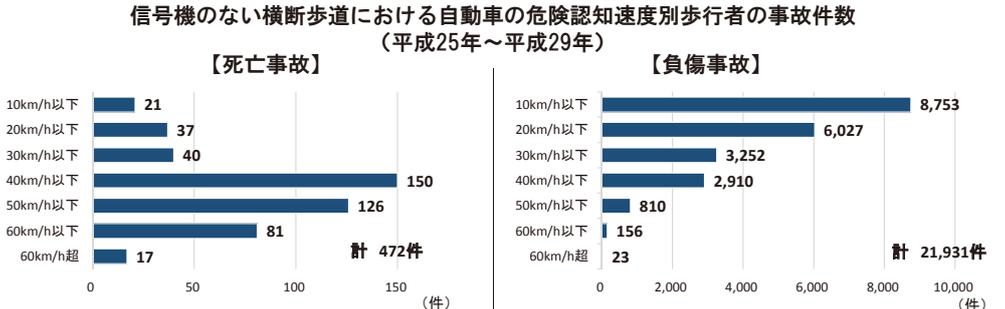


参考 信号機のない横断歩道における自動車の危険認知速度別歩行者の事故件数

- 死亡事故の自動車の危険認知速度別では、時速40km/h～60km/hが多くなっている。

【横断歩道等における歩行者等の優先】(道路交通法第38条関係)
車両等は、横断歩道等に接近する場合は、**当該横断歩道等の直前で停止できる速度で進行しなければならない**(歩行者等がないことが明らかなる場合を除く)。

図 信号機のない横断歩道における自動車の危険認知速度別歩行者の事故件数(平成25年～平成29年)



福島県 年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動

1 目的

毎年この時期には、夕暮れ時から夜間にかけて交通事故が多発し、特に高齢歩行者が被害者となる交通事故の増加が懸念される。また、高齢運転者による重大事故も発生していることから、県民一人一人が、交通安全意識を高め、交通ルールの遵守、正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、県民総ぐるみで交通事故の防止を図ることを目的とする。

2 期間

平成30年12月10日(月)から
平成31年1月7日(月)までの29日間

3 運動のスローガン

「ハイビーム 上手に使って 事故防止」
年間スローガン
「みんながね ルール守れば ほら笑顔」

4 運動の重点

- (1) 高齢者の交通事故防止
- (2) 夕暮れ時や夜間の交通事故防止（特に、反射材用品等の着用の推進）
- (3) 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- (4) 飲酒運転の根絶

運動の重点1	高齢者の交通事故防止
内 容	(1)高齢者自身の交通安全意識の高揚を図り、交通事故に遭わない・起こさない行動を習慣付けましょう。 (2)高齢歩行者等の交通弱者をみんなで保護する意識を醸成しましょう。 (3)夕暮れ時から夜間にかけて高齢歩行者が被害となる重大事故の多発が懸念されることから、ドライバーは速度を落とし、原則上向きライト(ハイビーム)で早めの発見に努め、歩行者等は車のライトが見えたら無理な横断等はしないようにしましょう。
運転者は	(1)高齢歩行者、電動車椅子利用者等を見掛けたら、減速し安全を確認するなど、思いやりのある運転をしましょう。 (2)高齢運転者標識(高齢者マーク)や聴覚障がい者標識を表示している車両に対しては保護義務があることを理解し、思いやりを持って運転しましょう。 (3)夕暮れ時における自動車の前照灯の早めの点灯、原則上向きライト(ライトのこまめな上下切替え)に心掛け、夕暮れ時や夜間の歩行者や自転車等との衝突事故を防止しましょう。
運動の重点2	夕暮れ時や夜間の交通事故防止(特に、反射材用品等の着用の推進)
内 容	(1)「PM4(ピーエム・フォー)ライトオン運動」に取り組みましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0e0; text-align: center;"> <p>【PM4(ピーエム・フォー)ライトオン運動】</p> <p>1 午後4時を目安とした早めのライト点灯、原則上向きライト点灯(ライトのこまめな上下切替え)、歩行者等は反射材用品・懐中電灯等の活用により交通事故防止を図る運動</p> <p>2 運動期間 平成30年11月1日から平成31年2月28日まで</p> </div> (2)夕暮れ時から夜間にかけて、高齢歩行者等が被害に遭う重大事故が多いことから、ドライバーは速度を落とし、上向きライト(ハイビーム)を基本とし、早めの発見に努めましょう。また、歩行者等は車のライトが見えたら、無理な横断はしないことを徹底しましょう。 (3)夕暮れ時や夜間の歩行中・自転車乗用中は反射材用品等の着用を習慣付けましょう。 (4)朝・夕の路面凍結によるスリップ交通事故防止のため、路面の状態を確認し、慎重な運転を心掛けましょう。
運転者は	(1)視認性を高めるとともに、自分の車の存在を他者に知らせるためにも、夕暮れ時における自動車の前照灯は早めに点灯しましょう。 (2)夕暮れ時や夜間の運転の際は、道路横断中の歩行者等との衝突事故防止のため、原則上向きライト(ライトのこまめな上下切替え)及びスピードダウンを励行しましょう。 (3)ライトの照射距離・照射範囲に限界があること、これに伴って、歩行者等の発見が遅れることを認識し、昼間と同じ感覚で運転することがないように注意して運転しましょう。 (4)オートライト装備車の場合は、スイッチを手動に切り替えて早めのライトの点灯に努めましょう。(駐車する際は、ライトの消し忘れに注意しましょう。)
運動の重点3	全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
内 容	(1)後部座席を含めた全ての座席でのシートベルトとチャイルドシートの正しい着用を徹底し、交通事故発生時における被害の防止・軽減を図りましょう。 (2)シートベルト着用率100%を目指し、交通安全意識の向上を図りましょう。
運転者は	(1)自らシートベルトを正しく着用するとともに、後部座席を含めた同乗者全員にシートベルトとチャイルドシートを正しく着用させましょう。 (2)発車の際は、後部座席を含めた同乗者全員がシートベルトを着用したことを確認してから発進しましょう。
運動の重点4	飲酒運転の根絶
内 容	(1)飲酒運転の悪質性・危険性、飲酒運転等に起因する交通事故の悲惨さを認識し、規範意識の確立を図り、飲酒運転等を根絶しましょう。 (2)飲酒を伴う各種行事や会合等には、車を持ち込まないようにしましょう。やむを得ず持ち込む場合は、予めハンドルキーパーを決めておくなど、飲酒運転を絶対にしないようにしましょう。 (3)飲酒運転を助長する行為(車両提供、酒類提供、車両同乗)は絶対にやめましょう。
運転者及び 自転車利用者は	(1)飲酒運転の悪質性・危険性、事故を起こしたときの責任の重大性を十分認識し、運転者としての責任を自覚しましょう。 (2)飲酒後、アルコールが体内で分解されるまで相当の時間が必要であることを認識し、飲酒運転を防止しましょう。 (3)自転車も「車両」であることを認識し、飲酒後は自転車に乗らないことを徹底しましょう。

12月の行事予定

日程	行事内容	開催場所
3日(月)	第3回 広報・IT委員会	郡山市「県中研修センター」
4日(火)	高校進路アドバイザーと福島県トラック協会との懇談会	いわき市「ワシントンホテル」
12日(水)	トラック運送業就職説明会(ハローワーク福島との共同開催)	福島市「福島研修センター」
	第10回取引環境・労働時間改善福島県協議会	福島市「ホテル福島グリーンパレス」

協同組合 平成30年度ふくトラネットワーク協同組合 KIT情報

「Web KIT」 荷物 (求車)・車両 (求荷) の情報登録・成約件数 ※上記表にはKIT外成立は含みません

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期合計	増減
荷物(求車)登録件数	398件	273件	268件	409件	427件	462件	525件						2,762件	2,440件	-665件
荷物(求車)成約件数	147件	102件	98件	117件	136件	142件	161件						903件	690件	-90件
成約率	36.9%	37.4%	36.6%	28.6%	31.9%	30.7%	30.7%						32.7%	28.3%	5.5ポイント
車両(求荷)登録件数	241件	243件	271件	294件	281件	260件	320件						1,910件	1,593件	-263件
車両(求荷)成約件数	156件	173件	202件	241件	241件	208件	222件						1,443件	1,090件	-77件
成約率	64.7%	71.2%	74.5%	82.0%	85.8%	80.0%	69.4%						75.5%	68.4%	7.7ポイント

お知らせ 交通事故統計

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況は平成29年に比べ平成30年では発生件数(-16)、死者数(-1)、傷者数(-10)となっている。交通規則を守るとは、社会人としての基本的な責務です。会員事業所におかれましても、プロドライバーとして、より一層の交通安全対策をお願いします。

交通ルールの遵守、思いやり運転等交通マナーアップ 交差点での安全確認の励行 速度の抑制

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況(10月末)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	平成27年 に比べて の増減数	11月	12月	年間合計
29年(概数)	発生件数	8	114	13	10	7	3	12	11	7	8	93			7	2
	死者数								1	1		2		1	1	4
	傷者数	9	19	18	11	8	5	13	12	8	9	112		6	2	120
30年(概数)	発生件数	5	9	11	5	8	3	8	11	7	10	77	-16			
	死者数										1	1	-1			
	傷者数	5	11	17	6	10	3	10	18	7	15	102	-10			



トラック広報 わだち12月号(通巻455号)

平成30年12月1日発行(毎月1回1日)
編集発行 公益社団法人福島県トラック協会
〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32
TEL 024-558-7755(代) FAX 024-558-7731
H.P http://fukutora.lat37n.com/

